

テニスルールに関するQ&A

栄区テニス協会加盟団体から提出して頂いた質問について回答致します。

「JTA TENNIS RULE BOOK 2008」による。

Q1. 他のコートのボールがコートに入った場合、“レット”を言えるのはボールが入ったサイドの選手のみか？。相手サイドの選手でもよいのか？。また言えるタイミングは？。

A1. プレーヤーは誰でも何時でもレットをコール出来る。P41～43、Q11～15。

レットがコールされた時、その時の状況によってレットは取り消されそのポイントは成立することもある。別の解説を参照。P47, チェアマンがつかない試合方法, 1. セルビヤッジの方法, 8)参照。

詳細解説必要。

Q2. インプレイ中に強風で帽子がコートに落ちた場合：

①相手のポイントになるのか？。

②また相手側がクレームを言ってプレイを中止出来るのはいつまでの時点か？。ラリーが続いたらクレームは言えないのか、あるいは邪魔と思った時点で何時言ってもよいのか？

③帽子が落ちて相手からクレームがないのでプレイを続けていたら、風で帽子が飛ばされてネットに当たった。この場合帽子を落とした側がポイントを失うのか？。相手側からクレームが出ない場合はインプレイとして続けてよいのか？

A2. その試合で1度目ならレット（ポイントのやり直し）、2回目以降は失点。

P42 Q13 帽子を落とした場合。

P47, チェアマンがつかない試合方法, 1. セルビヤッジの方法, 8)参照。

Q3. プレイ中のまぎらわしい発言（例えば“いけない!!”、“あー”等）をした側がポイントを得てもそのままポイントとなるのか？。（ミズヤッジと同じと考え、紛らわしい発言をしたほうがポイントを取られると考えるが）

A3. 故意で妨害と見なされない限りポイントとなる。無意識か故意かは微妙。P20 規則 26 妨害 妨害と取れそうな発言が多いときは、ソフトウエイングしておく手もある。

Q4. サービス順番の間違い。ダブルスでレシーバーがサービス順番の間違いに気づき、レシーブしないでボールを止めて「順番が違っていたのでこのサーブはフォルトになり正しい順番の人がセカンドサーブから再開すべきだ」と主張した。

A4. P41 試合で起こる Q/A Q10. セカンドサーブでレシーバーのネットレディに気づかずボールを打ってしまった場合は、第一サーブからやり直す。ただし、サービスが打たれた後、ネットレディを知らせても、認められない。

Q5. 試合途中でネットの高さがおかしいのでチェックして欲しいと要望があったので、高さをチェックして試合を再開してもらったが、そのチェックが1stサーブをフォルトした後レシーバー側からの要望によるものだったので、レシーバー側から2ndサーブから再開ではないのかとクレームされた。

大会役員（レフェリー）はそのポイントでレットとし1stサーブから試合再開とした。（先の栄区民団体戦での実例です。コートの友 2005年版第二部付則 JTA 説明 22 [規則 26] 妨害（3）にて判断）

A5. 1stサーブからしてよい。短時間で済んだ場合は2ndサーブでもよい場合がある。

Q6. サービスのネットコールで次のケースの判定は？

- ①サーバーのパートナーが「ネット」とコールしたので、レシーバーは返球しなかった。
- ②サーバーのパートナーが「ネット」とコールしたのでレシーバーは黙ってゆるく返球した。このボールをサーバーのパートナーが相手コートに打ち返したがレシーバーは見送った。
- ③サーバー側のパートナーが「ネット」とコールしたが、レシーバーはネットではないと判断し強く打ち返し、このボールをサーバー側は見送ったがボールはコート内に入った。
- ④サーバーのパートナーはサービスがネットインしたと思ったが、レシーバーが何も言わずに返球したのでこれを打ち返して決めた。

A 6. P47, チェアアンパイアが見つからない試合方法, 1. セルジャッジの方法, 7) 参照。

サービスのレットはレシーバーがコールする。 誤ってサーバーがサービスのレットをコールした時は、以下の判断がくだされる。

- 1) そのコールによって、プレイが停止された場合は、サーバーの失点。
- 2) そのコールに、レシーバーが同意した場合は、サービスのレット
- 3) そのコールにかかわらず、プレイが続きポイントが終了した場合は、ポイントが成立する。

Q 7. アドバンテージ方式の試合で次の場合の判定は？

- ①アドバンテージ方式であることを双方忘れて、デュースを1回半繰り返した後アドバンテージ側でサービスをする前に気が付いた。この場合デュース側のサービスでポイントをとった方が勝ちなのか。あるいはこのままデュースゲームを続けるのか又は 40-40 後最初にポイントをとった方の勝ちとなるのか、または 40-40 からやり直すのか。

A 7. P44 Q21 ノード方式について。

- 1) 誤りに気がついたときデュースであつたら、ただちにノードに切り替える。
- 2) 誤りに気がついたときアドバンテージ A なら、もう1ポイントプレーする。
 - ・ 次に、A が取ればゲーム A で終了する。
 - ・ 次に、B が取ればデュースになり、ここでノードに切り替える。
- 3) 誤りに気がついたときゲーム終了だったら、その結果は成立する。

別紙参考資料：

「JTA TENNIS RULE BOOK 2008」 チェアアンパイアが見つからない試合方法

よく質問のある用語

故意と無意識・理にかなった時間・流れ・テニスウエア・ロゴ・コーチング
ソフトウオーニング・サービスのモーション

2008年6月17日 作成者：道下修三
以上